



育児休業を取得しながら
子育てと仕事を両立されている
保育士さんにインタビューをしました。

sensin
洗心福祉会

111

2026.10.1

洗心

地域と共に
これまでも
これからも



嬉野保育園
ブロックリーダー
木下 紗代子

■ 子育てと仕事の両立について教えてください。

子どもの急な発熱などで休む時には、他の先生から「何かしておくことある?」と保育内容や予定を気にかけてもらい、退勤後の子どもの対応や保護者への連絡などを丁寧にしてもらうなど、職員のみなさんの協力のおかげで子育てと仕事の両立ができているように感じます。また時短勤務で働かせてもらっていることで、散歩に出かけるなど自分の子どもとの時間を充実させることができています。

■ 保育士として働く中で、特に大切にしていることは何ですか。

子どもたちの気づきを大切にしながら日々わくわくするようなことを一緒に生み出していきたいです。また子どもたちのかわいい姿や成長を職員同士で共有しながら職員がみんなで楽しく保育できる環境も大切にしたいです。

■ 今後の目標や、取り組んでいきたいことを教えてください。

今まで先輩から教えていただいた子どもへの伝え方、子どもを引きつける方法、子どもたちや保護者の方との信頼関係を築く大切さを後輩へ伝え引き継いでいきたいと思っています。子どもたちや保護者の方が「保育園って楽しい」と思ってもらえるように、そして後輩たちも楽しんで保育に取り組めるように関わっていきたくと思っています。

■ 休日の過ごし方や、リフレッシュ方法を教えてください。

休日には家事などいろいろすることありますが、子どもとたくさん遊び、一緒にお昼寝をしたりおやつを食べたりとゆっくり過ごしています。また友人との会話を楽しみ、あっという間に時間が過ぎていきます。そのような何気ない時間が良いリフレッシュになっています。



洗心福祉会ホームページ

発行 社会福祉法人 洗心福祉会 広報委員会

〒514-0831 三重県津市本町 26 番 13 号 | 059-222-7700 | <http://www.sensin.or.jp>



洗心福祉会Instagram

p2. 温故知新から復古創新へ ― 原点から未来を創る
p3. 笑顔いっぱい！嬉野保育園開園 20 周年記念イベント
p4. 「好き」が未来につながる場所を目指して
p5. 敬老特集 元気な 100 歳を紹介

p6. 学ぶ、自信となる、未来を変える。
介護職員初任者研修開校
p7. 令和 8 年度介護職員の働きやすい職場環境づくり
厚生労働大臣表彰 奨励賞 受賞
～働きやすい職場づくりが実を結んで～
p8. 今、輝いているあなたにクリック

温故知新から復古創新へ ー 原点から未来を創る

1978年、洗心福祉会は豊野保育園から歩みを始めました。子どもたちの健やかな成長を願い、地域の中で役割を果たすことから始まった歩みは時代とともに広がり、今では保育・介護・障がい・医療の各事業を通じて1,000名を超える職員が地域の暮らしを支えています。

50年近い歴史を振り返ると、私たちが大切にしてきたものは、建物や制度、事業の形だけではありません。その中心にあったのは、いつも「人」でした。そして、法人の原点にある保育は人の人生の最も早い時期に寄り添う仕事です。

乳幼児期、とりわけ6歳頃までの環境や経験は、その後の人生の大きな土台となります。安心して過ごすこと、人に受け止めてもらうこと、友だちと関わること、失敗しても挑戦すること、自分の存在を認めてもらうこと。そうした日々の積み重ねの中で育まれる自己肯定感や人との関わり方、挑戦する力、思いやりなどの「非認知能力」は、大人になったとき、その一つひとつを記憶しているわけではないかもしれませんが、しかし、記憶に残ってなくても、その経験や安心感はその人の人生のどこかで生き続けていくのだと思います。

50年近く歩んできたからこそ、私たちはその「その後」を見ることができます。かつて園児だった子どもが社会を支える人となり、保育士として私たちと一緒に子どもたちを育てている。かつての園児が親となり、自分の子どもを連れて同じ園の門をくぐる。また、その親や祖父母が、法人の介護施設を利用する。そこには、一人の人の人生と暮らしが、保育・介護・障がい・医療という事業の境界を越えて

自然につながっている姿があります。私は、これこそが私たちの目指す「インクルーシブ」の一つの形なのではないかと考えています。

今年、嬉野保育園は20周年を迎え、認定こども園へと新たな一步を踏み出します。学童保育に加え、これからは放課後等デイサービスという新たな事業にも取り組んでいきます。0歳から保育園、認定こども園で過ごし、卒園後も学童保育や放課後等デイサービスという居場所がある。そして成長し、やがて年齢を重ねたときには、介護という形で再び法人とつながる。人生のさまざまな場面で、必要なときに必要な支援や居場所があり、人と人とのつながりが途切れない。そこに、法人の各事業が力を合わせる意味があります。

保育事業部では、これまで「温故知新」をテーマに受け継いできたものを大切にしながら新しい保育を考えてきました。そして今、「復古創新」を掲げています。これは過去に戻るのではなく、豊野保育園から始まった原点に立ち返り、50年近く大切にしてきた「人を育て、人を支える」と



保育事業部
部長 古林 敦子

いう本質を見つめ直し、そこから新しい未来を創ることだと考えています。

法人50周年に向けて、保育、介護、障がい、医療、それぞれの事業が互いにつながり、一人ひとりの人生と地域の暮らしを支えていく。その歩みの先に、私たちの目指すインクルーシブがあります。

この長い歴史の中で、私はこの法人に出会い、保育という仕事に携わることができたことを、心から嬉しく思います。そして、これまで出会った子どもたち、ご家族、地域の皆さま、そして、ともに歩んできた職員の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

豊野保育園から始まった一つの歩みは、今、大きな輪となりました。だからこそ、もう一度原点に立ち返る。そして、そこから新しい未来を創る。子どもたちの今日を大切にし、その先にある人生を思い描くこと。人が人を支え、世代を超えてつながっていく地域を創ること。それこそが、私たちにとっての「復古創新」であり、50年の歩みの先にある「インクルーシブ」なのだと思います。

笑顔いっぱい！嬉野保育園開園 20 周年記念イベント

9月6日（日）、20周年を記念して開催したイベントには園児やご家族、卒園児、地域の皆様など約 500 名にお越しいただきました。

オープニングは4歳児とんぼ組、5歳児ちょうちょ組の子どもたちによる勇ましい『鈴踊り』で幕を開け、会場はたくさんの笑顔と大きな拍手に包まれました。松阪市の竹上真人市長、赤塚かおり市議ほか来賓をお招きし開催した式典では、これまでの20年の歩みを振り返りながら、皆様と共に節目の年をお祝いすることができました。

その後は、地元・松阪市を拠点に 50 年以上活動されている「ザ・レイクス・ジャズ・オーケストラ」様による記念コンサートを皮切りに、三重県立相可高等学校 食物調理科 様や 工房楽々あやまによる焼き菓子販売、各種ゲームコーナー、フォトスポットなど、多彩な催しが並び、子どもから大人まで楽しめる内容となりました。園庭では、松阪北消防署 様による消防車・救急車の展示や、学校法人三重高等学校 ダンス部「シリアスフレイバー」様によるダンスパフォーマンスが披露され、子どもたちが目を輝かせて楽しむ姿が多く見られ、地域・松阪の魅力が随所に感じられる、心に残る一日となりました。

昨年度春に子どもたちと壁板をペイントするなどして新しく生まれ変わった保育室や、塗り替えられた門扉から広がる園庭を舞台に、20年の感謝を皆様と分かち合うことができました。

令和9年4月からは、幼保連携型認定こども園 < うれしのの杜こども園 > として新たな一步を踏み出します。これまでの20年を大切に、これからも地域に愛され、子どもたちの笑顔があふれる園づくりを目指してまいります。



「好き」が未来につながる場所を目指して

令和 8 年 9 月、当法人は津市高茶屋小森町に放課後等デイサービス「Paso・はなこま」を開設しました。当法人として初めてとなる放課後等デイサービスであり、開設場所は当法人が運営するサービス付き高齢者向け住宅つみなみシルバーケア豊壽園内に併設しています。全国的にも数が少なく、三重県内でも珍しい形態であり、世代を超えた交流を育む新たな地域福祉のモデルとして位置づけています。

「Paso（パソ）」はスペイン語で「一步」「歩み」を意味します。子どもたち一人ひとりが自分らしく歩みを進め、未来へ向かって成長してほしいという願いを込めて名付けました。私たちが大切にしているのは、「好きが未来をつくる」という想いです。好きなことや夢中になれることは、子どもたちの自信や挑戦する力につながります。そして、この「Paso」という名は、子どもたちの歩みであると同時に、私たちにとっても放課後等デイサービス事業への最初の一步であることを象徴しています。一人ひとりの「好き」に寄り添い、「できた」という喜びを積み重ねながら、その子らしい成長を丁寧に支えていきます。

開所に合わせて 8 月には内覧会を実施し、施設の雰囲気や活動内容を実際にご覧いただく時間を設けました。参加された皆さまからは「安心して利用できそう」「子どもが楽しめる環境だと感じた」などの声をいただき、スタッフ一同、今後の支援に向けて励みとなりました。

また、法人内の高齢者施設や保育園との交流を通して、多くの人との関わりの中で思いやりや社会性を育む環境づくりを進めています。さらに現在、地元教育機関や NPO 法人与連携し、地域資源を活かした学びや創造的な活動を広げる取り組みも進めています。

Paso・はなこまが、ご家族にとって安心して相談できる場所となり、地域の皆さまにも「この場所があってよかった」と感じていただけるよう、職員一同、子どもたちと共に歩んでまいります。



放課後等デイサービス
パソ・はなこま
〒514-0817
三重県津市高茶屋小森町1316-3
tel: 090-4775-8750

祝 敬老 インタビュー

今年も多くのご利用者が長寿を迎えられました。心よりお祝い申し上げます。
長寿を迎えられたご利用者にインタビューさせていただきました。



きむら としえ 様
(105歳)

津介護老人保健施設
シルバーケア豊壽園
(ご利用年数 4 年 10 ヶ月)

- Q. 若い頃の経験 — 青年期や働いていた頃で、特に印象に残っている出来事がありますか。
A. 結婚したこと。昔気質で几帳面な人だった。喧嘩という喧嘩は一度もしたことがない。
女は男を立てることが夫婦円満の秘訣だよ。

- Q. 家族とのエピソード — 家族や仲間との思い出で心に残っていることはありますか。
A. 3 人のひ孫がいて、その子らに毛糸の服を編んであげたことかな。(ひ孫らの)
母親は忙しかったから良く面倒を見てた。今も面会に来てくれたりして嬉しいよ。



- Q. 今の楽しみ — 日々の生活で楽しみにしていることは何ですか。
A. 豊壽園でみんなという事が幸せ。一人でいたらろくなこと考えてしまうしやっぱりさみしい。みんなというだけで気が晴れる。職員さんにはよくしてもらってありがたい。



にしざき やえ 様
(103歳)

介護老人福祉施設
志摩シルバーケア豊壽園
(ご利用年数 6 年 3 ヶ月)

- Q. 若い頃の経験 — 青年期や働いていた頃で、特に印象に残っている出来事がありますか。
A. お若い時は土木建築作業所の食堂でご飯作りをされており、おにぎりを握られていたそうです。ご自宅では自家製の味噌を使って味噌汁づくりをされていたそうです。

- Q. 家族とのエピソード — 家族や仲間との思い出で心に残っていることはありますか。
A. 施設でささやかですが毎年お誕生日会でケーキを召し上がっていただいています。
ご家族様からのプレゼントもその時に開封させていただきました。



- Q. 好きなもの — 昔から好きな食べ物や趣味はありますか。
A. 編み物を趣味にされており、昔は帽子やセーター等を編んでいたそうです。好きな食べ物は味ご飯だそうで、「大好き」と笑顔でお答えいただきました。



しおざわ まさこ 様
(99歳)

認知症対応型グループホーム
鈴鹿シルバーケア豊壽園
(ご利用年数 2 年 10 ヶ月)

- Q. 子どもの頃の思い出 — 幼い頃はどんな遊びや生活をしていましたか。
A. 今よりもっと貧しい暮らしをしていた。ご飯を固く炊くには沢山の米が必要だったから、どろどろのお米を食べていた。遊びは、なわとびやお手玉などを楽しんでいた。

- Q. 人生で学んだこと — 長い人生で「これは大事だ」と思うことはありますか。
A. 百年は一気に来るのではなく、積み重ねだからね。毎日が勉強であり大事。

- Q. 好きなもの — 昔から好きな食べ物や趣味はありますか。
A. お寿司屋さんのお寿司を食べる事！ 10 月の出張寿司も楽しみ！



学ぶ、自信となる、未来を変える。 介護職員初任者研修開校

当法人では、本年 8 月より「介護職員初任者研修」を開講しています。

本研修は、資格取得だけを目的とするのではなく、介護を学ぶことをきっかけに、人と人とのつながりを育み、ともに成長する「学びから始まる仲間づくり」をコンセプトに企画しました。介護の知識や技術を身に付けることはもちろん、さまざまな経験や価値観を持つ人が集い、それぞれの視点を持ち寄りながら学ぶ場となることを大切にしています。

カリキュラムは全 130 時間で構成され、そのうち 60 時間以上を、実際の介護場面を想定した実技等の講義・演習に充てています。移動・移乗、食事、入浴、排泄など、現場で想定される場面を取り上げ、知識だけでなく、実際の介護につながる力を養える内容としています。講師を務めるのは、法人内の、施設・在宅・看護・リハビリテーション・障がい福祉・栄養など、各分野で活躍する職員です。現場で培った経験や実践事例を交え、教科書だけでは学べない、現場に根ざした知識や技術を伝えています。

また、これからの福祉の現場では、さまざまな背景や価値観を持つ人が、それぞれの強みを活かしてともに働く「多様性」が、ますます重要になると考えています。だからこそ、さまざまな立場の人が介護を学び、理解を深める機会を広げることも大切です。介護の魅力や仕事の意義を知るきっかけをつくり、そこから生まれる気づきやつながりを、これからの福祉を支える力へとつなげていきたいと考えています。

「学ぶ、自信となる、未来を変える」。その一歩となる学びの場を、これからも育てていきます。



令和 8 年度介護職員の働きやすい職場環境づくり 厚生労働大臣表彰 奨励賞 受賞 ～働きやすい職場づくりが実を結んで～

このたび、ふたみ介護老人保健施設シルバーケア豊寿園は「令和8年度介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣表彰 奨励賞」を受賞いたしました。

この栄誉は、日々現場で支え合い、ご利用者のために真摯に向き合ってきた職員一人ひとりの努力の結晶であり、施設全体の誇りです。

私たちはこれまで、みえ介護生産性向上支援センターの伴走支援モデル事業所として、ICT や DX を活用した生産性向上に取り組んできました。特にタイムスタディの実施により、時間外労働の削減や業務効率化といった具体的な成果が生まれ、離職率の低下や稼働率の安定にもつながっています。働きやすい環境が整うことで職員の心にゆとりが生まれ、互いを支え合う風土が自然と育まれていったように感じています。こうした信頼関係と心のゆとりこそが、ご利用者に寄り添うケアを支える大きな力になっていると確信しています。

今回の受賞は、職員の笑顔とゆとりが温かなケアへとつながる好循環が生まれていることの証です。この栄誉に恥じぬよう、これからも職員一同、より働きやすい職場環境づくりと質の高いケアの実現に努めてまいります。



施設状況サマリー（時間帯毎）



データを活用し、施設の状況を「見える化」

HitomeQの施設状況サマリーで、ケアコールや生活リズムなどのデータを確認し、よりよいケアにつなげています。

集団向けタイムスタディ調査票

時間	活動	記録	時間帯											
			1時台	2時台	3時台	4時台	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台
看護介護 (※1)	1.移動・移乗・体位交換	5			3	3	2							
	2.排泄介助・支援				7	7	8	5						
	3.入浴・清拭・更衣											10	10	5
	4.利用者とのコミュニケーション													5
	5.日常生活自立支援 (※3)													
	6.行動上の問題への対応 (※3)													
	7.食事支援	4			5	7	8	7	6					

調査日	ふたみを健	担当しているユニットのケアマネ	3期
調査員		認定看護師	1:30 ~ 18:30
調査時間	10月1日(月曜日)	実習生研修時間(研修時間5分)	7:30 ~ 18:30

タイムスタディで日々の業務を可視化

タイムスタディの調査により、業務の流れを見える化し、効率化や時間外労働の削減につなげています。